

## 鳥取市議会文教経済委員会会議録

会議年月日	令和4年3月10日（木曜日）		
開 会	午前9時59分	閉 会	午後2時19分
場 所	市役所本庁舎7階 第2委員会室		
出席委員 (8名)	委員長 田村 繁已 副委員長 朝野 和隆 委 員 岩永 安子 米村 京子 西村紳一郎 平野真理子 長坂 則翁 上杉 栄一		
欠席委員	なし		
委員外議員	荻野 正己		
事務局職員	調査係長 中川 真理 議事係主任 橋本 圭司		
出席説明員	<p><b>【経済観光部】</b></p> <p>経済観光部長 平井 圭介 次長兼経済・雇用戦略課長 大野 正美          経済・雇用戦略課課長補佐 古網 竜也 経済・雇用戦略課市場開拓係長 岩崎 勝紀          経済・雇用戦略課雇用政策係長 保木本 淳 企業立地・支援課長 西田 茂樹          企業立地・支援課参事 網田 正 企業立地・支援課課長補佐 太田 順二          企業立地・支援課誘致・振興係長 山根 裕史 観光・ジオパーク推進課長 平井 宏和          観光・ジオパーク推進課参事 米澤 裕治 観光・ジオパーク推進課課長補佐 西垣 拓二          観光・ジオパーク推進課観光振興係長 川口 隆 経済観光部参事 前田 武志</p> <p><b>【農林水産部】</b></p> <p>農林水産部長 田中 英利 農政企画課長 山川 泰成          農政企画課課長補佐 蔵増 達弘 林務水産課課長 山口 真二          林務水産課課長補佐 下石 直生 農村整備課長 坂本 武夫</p> <p><b>【農業委員会】</b></p> <p>事務局長 谷口 博信</p>		
傍 聴 者	1人		
会議に付した事件	別紙のとおり		

午前9時59分 開会

【経済観光部】

◆田村繁巳委員長 ただいまより文教経済委員会を開会いたします。

本日の日程はお手元に配布のとおり経済観光部の議案審査を行い、報告を受けた後、令和4年度当初予算の質疑を行います。その後、農林水産部・農業委員会も同様に進めてまいります。

なお、令和4年度当初予算関係議案につきましては予算審査特別委員会での審査となりますので、委員長の宣告により文教経済分科会へ切替えを行いますので御承知ください。

それでは経済観光部の審査に入ります。初めに平井部長に御挨拶をいただきたいと思います。

○平井圭介経済観光部長 おはようございます。経済観光部は本日、今お話していただきましたとおり議案審査1件、予算案の審査、報告2件という予定でお願いします。

議案につきましては山紫苑の料金改定ということで既に御説明申し上げたところですが、施設の老朽化とか、コロナの影響で客足が落ちて苦境に立たされておりますところですが、これを何とかしたいということで取り組んでおります。私も取締役の1人として月に1回、会に出てやっております。昨年の夏に専門コンサルからの報告の取りまとめを受けまして、いろんな改革に取り組んでおります。町営の国民宿舎の時代からの長年の積もり積もった、いろんな無駄であったり、よくないところとかということが浮き彫りになりまして、接客の改善とか、料理の見直し、それから経営の無駄なコストのカットとか、いろんなことに取り組んでおります。施設の改修も御紹介したとおり行って進めております。その中で料金改定、必要だという認識はありながら、ずっと手をつけてなかったというふうなことでございますので、我々としては前向きな取組のつもりでおります。山紫苑は地域の核でございますので、鹿野地域西地域の活性化のためにも、また、雇用を維持するという意味でも大変重要だと思っておりますので、その認識で向かいたいと思っております。よろしくをお願いします。

◆田村繁巳委員長 質疑に先立ちまして申し上げます。質疑及び説明、答弁は簡潔にさせていただきますよう、執行部及び委員の皆様をお願いします。

議案第49号鳥取市国民宿舎山紫苑の設置及び管理に関する条例の一部改正について（質疑・討論・採決）

◆田村繁巳委員長 議案第49号鳥取市国民宿舎山紫苑の設置及び管理に関する条例の一部改正についてを議題とします。

本案に対する質疑を行います。質疑のある方は挙手をお願いします。岩永委員。

◆岩永安子委員 まず、令和2年から経営改善、先ほども平井部長のほうからも取りまとめを昨年の夏に行ったという紹介がありました。その経営改善計画から出された料金改定ということだと思うんですが、紹介も少しありましたが、この料金改定やそれからほかに改善計画のポイント、まず紹介をお願いいたします。

◆田村繁巳委員長 平井課長。

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 観光・ジオパーク推進課平井です。まず、その経営改善計画の概要について説明をさせていただきます。この計画は金融機関と指定管理者、それから旅館のこの再生専門に取り組んでおられるコンサルタントの3者で策定をされたということで

ございます。基本的には、つくりとしては中身の話は県内の宿泊施設の例えば宿泊、客室の稼働率とか、観光の入り込みの状況とか、そういったいわゆる業界や市場の動向っていうようなものも踏まえた上で、山紫苑の中にはいろんな部門がありますんで、例えばフロントやあるいは調理、それから応接っていう部門ごとにそれぞれにまず目標を設定して5か年の、例えば今回の資料にも上げていますけども、5か年の宿泊者数の推移、それから収支計画っていうものを設定して、戦略やアクションプランに沿ってそれぞれの部門ごとに今、改善策に取り組んでいるというようなところでございます。

それで、基本的な考え方としてこの計画の中で重点としておりますのが、先ほど部長も言われました老朽化しているこの施設の状況っていうものを料理、それから接客、それから温泉、この3つの評価を上げることで補ってリピーターを増やしていこうということがまず大きな課題として、この計画では上げられております。この課題に沿いまして低単価の商品ですとか、あるいは朝食の見直し、それからカニや会席料理っていう夕食ですね、こちらの商品の充実によって商品力とか、利益率っていうようなものを向上させて売上げを増加させていこうというような柱が1点あります。

もう1点がこれまで特にやってなかった分野なんですけども、資料にもありますインターネット予約サイト、OTAっていうんですけど、このOTAとか、自社のホームページを中心にインターネットを活用した販路拡大の取組を強化しようということでございまして、こちらも、既にホームページのリニューアルも済ませ、それからOTAのほうの販路予約っていうものも充実させながら、今、取組を進めているというようなところでございます。

取りあえず以上でございます。

◆田村繁巳委員長 岩永委員。

◆岩永安子委員 夕食の充実や、どうしてもここで夕食を食べて、朝食もね、美味しい朝食食べてっていうのはポイントになるんだと思うんですが、その施設の改修について壁紙を直したりとかいう紹介はあったんですが、根本的なところで耐震性の問題が以前に本議会でも指摘をされたことはあると思うんですが、そこら辺については、市長の答弁は更新は行わないという施設だという認識をしているんですが、そこは、それ間違いないでしょうか。

◆田村繁巳委員長 平井課長。

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 観光・ジオパーク推進課平井です。昨年の2月に多分質問いただいた案件だと思いますけども、基本的には公共施設再配置基本計画の中で、今、議員さんお尋ねになったように、民間とサービスが競合するということもあって、基本的に行政による更新は行わないというような位置づけには計画上なっております。ただ、一応、今、その山紫苑も施設が本館と新館とございまして、昭和47年に建てられました本館が今、言った耐震の部分で基準に合致してないというところですけども、新館のほうは一応耐震性の問題はクリアしているという認識の下でそういった新館を中心にした、例えば今回の経営改善計画も新館を軸にしながら組立てをするというようなコンサル側からの提案もいただいとるところです。以上です。

◆田村繁巳委員長 岩永委員。

◆**岩永安子委員** 本館は耐震性がない、ないというか、本会議の質疑でI s値0.24というところで、それは変わらないわけですよ。それで、新館を軸にして利用を増やしていこうということなわけですけど、そういう状況だということ踏まえとって、令和4年度の宿泊者数の推計値が1万2,050人ということで推計が出とって、これは令和元年が1万2,166人ですからほぼコロナ前の集客が見込めるという推計になっているんですが、その辺の根拠はどう考えておられるんでしょうか。

◆**田村繁巳委員長** 平井部長。

○**平井圭介経済観光部長** 取りあえずこの令和4年度っていうのは、施設について壊したりとかかっていう話ではありませんので、現有施設でのコロナからの回復をある程度見込んだ数字としております。

その本館の耐震性不足の話につきましては、今の段階でこれをどうするっていうような判断もつきません。我々といいますか、当事者である山紫苑なり、経済観光部としてはそのコンサルも入れて云々っていうことを申し上げましたけども、やはり現状である程度収支が、バランスが取れる状況でなければ次の発展的な話とか、施設をどうするかっていう議論もできないだろうと。売上げが落ち込んだままどうするかという話になると、もうそれを処分するかというようなことにしかならないというような認識を持っておりますので、まずは今の状況でどこまで経営を回復できて、その次のステップが見込める状況まで持っていけるかということところが今のポイントだと思っております、ここ経営改善に基づいて、経営改善は5年ですけれども、それ5年先っていう意味じゃなくて、ここ一、二年のそういう状況をしっかりと確認した上で、じゃあ、施設の今後のその活用方法についてどうするのか、新館だけではキャパが少ないっていうこともありますので、新館だけでやっていくっていうそういう簡単な話でもありませんし、本館を簡単に改修もできないと、じゃあ、どうするのかっていうことはもう根本的な大きな問題、山紫苑の在り方なり、この鹿野の地域のこの山紫苑を使ったこの活性化というようなことも踏まえた大きな議論になってくると思いますので、それができる段階までここ一、二年で持っていきたいというところでおりますので、その先の話っていうのはまだこれからという認識でおります。以上です。

◆**田村繁巳委員長** よろしいですか。そのほかございますか。長坂委員。

◆**長坂則翁委員** 確かに建物が老朽化して改修をしなくてはならないっていうことについては理解をしたいと思います、参考までにお聞きするんですけども、この山紫苑の利用者っていうのは主にどっち方面、京阪神方面からの、そこら辺りは、全部把握はしておられると思うんですけど、県内が中心なのか、県外が中心なのかちょっと参考までに教えてください。

◆**田村繁巳委員長** 平井課長。

○**平井宏和観光・ジオパーク推進課長** 観光・ジオパーク推進課平井です。比率でいいますと委員会資料の22ページのほうにも一応お示しをしています、県外の比率がやはり約8割近くありまして、今、議員さんがお尋ねになりました京阪神、それからやっぱり中国地方、このエリアからの集客が一番多いというのが実態でございます。鳥取市内におきましては全体のやはり15%強ぐらいですね、そういうような比率になっております。以上です。

◆田村繁巳委員長 長坂委員。

◆長坂則翁委員 これは私が勝手に思うことなんだけど、やっぱり少しでも利用者を増やしていこうとすれば、他の観光資源っていいですか、そこの連携っていうんかね、ただ、山紫苑に泊まってくださいだけではなかなか魅力が生まれんと思うんで、他の観光資源とどうマッチングさせた取組をしていくのか、そこら辺りについてはどう考えておられるんですか。

◆田村繁巳委員長 平井課長

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 観光・ジオパーク推進課平井です。1月の補正予算にもこのたび御承認いただきましたように、観光庁の補助事業を活用して地域計画をつくって山紫苑の宿泊施設としての改修に向かうという中で、まずは鹿野地域として、まず、鹿野地域にあります農業体験ですとか、城下町の散策体験、アドベンチャーツーリズム、いろんな文化も含めたところで要素を持った地域でございますし、西地域から合わせまして議員さんがお尋ねになれるのは市全体としての観光地の連携っていうこともあろうかと思っておりますので、その辺りはやはり鳥取砂丘なども含めまして、我々として例えば情報発信していく中での相乗効果につながるような、山紫苑も組み入れた情報発信なんかも行っていく必要はあるんだろうなというふうには認識しております。以上です。

◆田村繁巳委員長 長坂委員。

◆長坂則翁委員 やっぱ鹿野っていえば城下町っていう、城下町の魅力を発信をしながら、ただ、城下町と山紫苑の距離間がかなりあるもので、もちろん今頃マイカーだって言ってしまうとそれまでかもしれんけれども、やはりそういった、もっと何かを、城下町鹿野というものを売り出しながらいかに山紫苑の宿泊客を増やしていくのか、そういった基本的な戦略当然立ってはおられると思うけれども、立てるべきだと思いますね。これは意見です。

◆田村繁巳委員長 平井部長。

○平井圭介経済観光部長 御指摘のとおり、そういう鹿野の資源を使って宿泊として山紫苑にっていう動きは、ちょうど私が入った令和2年度辺りから一生懸命考えています。逆に言うと今までそこは足りなかったというのは、ふるさと鹿野全体としても認識してまして、往来交流館ドリームもふるさと鹿野が受託しております。また、気楽里もできておりますけども、そういうところとの連携ができてなかったという反省の下に、今、サイクルツーリストの宿ということで自転車も買ったりしておりますし、マイクロバスも持っていますので、マイクロバスで送迎したりとか、あとはそば道場との連携とか、幾らでも素材はあるんだという認識でいろんなこと企画してはいますけども、残念ながら3年度はコロナでなかなかそれが実行できなかったという状況ですので、当然宿のプランとも併せて4年度以降打つ構えはしております。

◆田村繁巳委員長 そのほかございますか。西村委員。

◆西村紳一郎委員 レンタサイクルとか、ワーケーションスペース等が整備されたということですが、女性の利用を考慮したこの整備をされたのか。そこら辺お尋ねしたいと思います。

◆田村繁巳委員長 平井課長。

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 観光・ジオパーク推進課平井です。女性に特化したこの施設整備という部分で、そういう注力したかと言われますと、基本的にはそこまでのことはし

てないんですけど、ただ、自転車にしてもそういった御家族で来られた方に、例えば小さい幼児の方から小学生、それからもう少し御年輩のお父さん、お母さんが乗れるような自転車に幅広いものを取りそろえたりとか、あるいは施設整備とは関係ないですけど、食事のプランなんかもやっぱり女子旅のプランとか、そういったようなものも山紫苑のほうで企画をされながら、何とか新しい、そういうワーケーションも含めた需要やニーズの獲得をしていこうというような今、努力をしていただいとるといような状況です。以上です。

◆田村繁巳委員長 西村委員。

◆西村紳一郎委員 要望ですけどね、やっぱりワーケーションスペースも女性の専用とかそういうのをされて、やはり女性を呼び込むと。女性に魅力ある施設じゃないと展望開けないと思いますよ。これ要望です。

◆田村繁巳委員長 平野委員。

◆平野真理子委員 今、西村委員から要望がありましたので、私のほうからも1つ要望で、今、朝食っていうのがとっても大事っていうか、終わりました、じゃあ、さようならっていう最後のサービスっていうかイメージで、朝食がよかったっていうのはとても広がっていくっていうか、境港の新しい旅館っていうか、ホテルも朝食はすごい広がってまして、朝食はいいというがあるので、ぜひ何かそういうのも企画されたらいいかなというふうに思います。以上です。

◆田村繁巳委員長 平井課長。

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 観光・ジオパーク推進課平井です。まさに御指摘のとおりでして、実は経営改善に入る以前から、朝食の評価が低かったっていうのが実態としてありまして、これの改善をやはりコンサルのほうからもまず急げという話があって、実際にコンサルの経営改善後の動きとして、やっぱりコーヒーを例えばサービスする、今ではヨーグルトなんかもサービスするというような形で、少し接客面なりそういう付加価値をつけてやっていってのおかげで、何とか今、OTAのほうの口コミの評価なんかも当時3点台だったものが4点台になったりとかいうような形で、少しずつですけど向上の余地も見られてきていますんで、引き続き、現場もそういったところはやっぱり気にかけてやっていきたいというふうなことをおっしゃってましたので、我々もそういった取組を支援していきたいなと思っております。

◆田村繁巳委員長 上杉委員。

◆上杉栄一委員 料金改定というものがこのたびの提案の大きなあれなんだけれども、他の国民宿舎等々の利用料金体系見ると安かったということで、例えば市内のビジネスみたいな形になれば、利用者っていうのはみんな、宿泊にしても観光客にしても安いホテルを取りたいという意識はあるんだろうけれども、この国民宿舎の山紫苑の場合、いわゆる立地からすれば鹿野ということですから、そのビジネスとかそういった形で泊られる客っていうのはそうたくさんはないんじゃないかなというふうに思っております。それから県外客っていうことになれば、やはり観光客。だから、それはアンケート取っておられるかどうか分らんけれども、料金が安いからここに泊まろうというような客っていうのはあまりたくさんいないんじゃないかなというふうな印象はありますわ。たまたまここに泊まったら結構料金安かったというような話じゃ

ないのかなというふうに思います。

ですから、ここで経常収支のラインがあるんだけれども、ある程度それを料金改正になれば、目標の宿泊者数がクリアできれば黒字転換するというようなことになれば、さっきの話で今後のいわゆる耐震等々についても手がつけられるというような話になるわけだろうから、私はこの料金改正については、これやはりいつまでも今のままの料金でというようなことにはまいらんではないかなと。こないだ一般質問でもレーク大樹の話をさせてもらったんだけれども、結果として、あそこは築後まだ10年ぐらいしかたってなかったから、要するに民間であそこを買いましょうという気は出てくると思います、それはね。ところが、ここはそれこそ仮にもうにっちもさっちもいかんようになって、どっかの民間手を挙げてくださっていったときに、あの古い建物を買う業者はいるのかなってというようなところもある。こないだの話でいうと、返ってそれこそ除却費用が高くついて、それこそ一文にもならなんだというような話もあるわけなものですから、そういう面からすれば、このある程度値上げについてはやむを得ないかなと。

それからここに書いてあるように、鳥取市の利用者っていうのが15%程度ということであるんで、多くの県外の観光客っていうか、そちらのほうに値上げの分は被る話になっちゃうんだけれども、それはそれとして私は特にここが突出して高くということじゃないんで、これは仕方がないなというふうに私は思います。以上です。

◆田村繁巳委員長 米村委員。

◆米村京子委員 お聞きしたいんですけど、コンサルを入れていらっしゃるということで、コンサルとの根本的な改善計画っていうようなことはされたんでしょうか。コンサルはいろんな形で意見言われますよね。その中で十分に活用されてるかどうかっていうことをちょっとお聞きしたいんですけど。

◆田村繁巳委員長 平井課長。

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 観光・ジオパーク推進課平井です。ちょっと質問の趣旨と違うかもしれませんが、一応コンサルさんもこのたびの3者による契約を経て、いわゆる現地に、よくある入って、実際に今の施設の実業従業者さんがどういう例えば対応をしてるとか、接客をしてるとかっていうような現地調査を行った上で、そこから例えば先ほど私が申し上げた各部門ごとに、いわゆる指摘事項、改善事項というものをまとめてアクションプランというような形で仕上げさせていただいて、それに基づいて各従業員がいわゆる改善に取り組んでいるというような状況なので、当然、中の実態というものを把握して、それに基づいた改善計画をコンサルさんには示していただいたということでございます。

◆田村繁巳委員長 米村委員。

◆米村京子委員 コンサルってものすごい大変な立場なので、正直いって私やなんか経営戦略するときもコンサルが入ってくるんですよ。コンサルが入ってきて、その実情に合った意見が言ってもらえないときがあるんですね、コンサルの中でも。その辺のところはもうコンサルさんももうちゃんと中に入って、状況を見てされてるっていうことですね。それでもなかなか改善策にならないっていうところもあるんですか。何か一番問題なところっていうのは、山紫苑のどの辺が問題なんでしょう。

◆田村繁巳委員長 平井部長。

○平井圭介経済観光部長 コンサルは話を進めていたまだ契約の前に、お忍びで入られました。

その感想を言われたのが報告の中身にもつながるんですけど、施設的にはもう時代遅れだと。それから設備もよくない、老朽化も目立つと。対応についてはちょっと詳しく覚えておりませんが、そういうものを問題視されてた部分もあります。経営改善計画の中では、できることは先ほどいろいろ申し上げましたとおりに着手しております。一番大きいのはやはり施設の老朽化の問題、これについては、耐震については鳥取市がどうするかという話にもなりますので、まだそこは手がついていないわけですが、それと施設的には設備の部分でいろいろと改修はしましたけども、ボイラーとか電気関係っていうのがまだ手がつけてません。大規模なお金がかかると。今その温水がなかなか思う具合にキープできなかつたり、ちょっと故障するともう修理が効かなくなるかもしれないみたいな、網渡りみたいな空調関係とか、そういう熱関係ですね、それがありますので、その問題も改修は当然必要だと思っております。

ですけども、そのコンサルもこの山陰及び鳥取県内での実績っていうのはお持ちのコンサルでして、大きな会社ではないですけども、かなり大きな実績も上げておられるし、意見としてはものすごく厳しい意見だなという、もう痛いところがいっぱい出てきて、でも真剣に取り組もうという姿勢にはなってきておりますので、何とかしたいなという、そういうところです。

◆田村繁巳委員長 米村委員。

◆米村京子委員 ほんとにコンサルもいろいろと、もうほんとに理不尽なことをがんがんに言われるんですね。それは分かります。その中でやっぱり何かよりよい改善をしていこうという姿勢、これから期待しております。

◆田村繁巳委員長 そのほかございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆田村繁巳委員長 ないようでございますので、以上で質疑を終結します。

討論に入ります。討論はありませんか。岩永委員。

◆岩永安子委員 山紫苑はやっぱり鹿野の大事な観光拠点だというふうに思います。鳥の劇場の観劇をするのに山紫苑を宿舎で使ったりっていうような形でいろいろセットにして紹介がされたりとか、また、山紫苑だけじゃない、ふるさと鹿野の関係でそばづくりだとか、ほんとにまちづくりの大事な拠点になっているというふうに思うんです。ですから、こんなに長い間、何も手をつけずにいた、それで、さっき言われたような根本的な問題を抱えながら料金改定でどれだけしのいでいけるんだろうかっていうふうに、非常に不透明な感じがします。そういう意味ではワーケーションスペースだとか、新しくつくっていかなきゃいけない料金は、これはつくっていかんと利用ができませんからいろんな利用を広げていくという点でそれは新設していかんといけんと思うんですが、そもそもここでいろんな問題を抱えながら料金改定でどれだけ、まさにしのいでいけるんだろうかっていうところが不透明なのに、料金改定だけ、だけは違いますね。経営改善計画いろいろやるって言われるわけですからそうなんだと思うんですが、コロナ禍の中で、料金改定でどれだけ山紫苑が改善できるのかっていうところは、私はほんとに不透明だと思います。守っていただきたいし発展さしていかなきゃいけないというふうに思い



ますが、それがその料金改定という形で、もっと私たちに全面的によく分かるように出しているということが私は必要じゃないかなというふうに思います。料金改定で利用者に負担を求めて改善を求めていくというのは、それだけでは不十分、不透明なので賛成できないというふうに思います。

◆田村繁巳委員長 ということでは反対討論ということですね。

◆岩永安子委員 はい、すみません。

◆田村繁巳委員長 はい、そのほかございますか。西村委員。

◆西村紳一郎委員 私、賛成の立場で討論いたします。経営改善計画に基づく改善がなされてきていると。この料金改定によって山紫苑の将来展望が開けるその第一歩だと。踏み出さなければ何の意味もないわけですので、この改定をして新たな山紫苑の取組を期待したいと思います。ということで賛成いたします。

◆田村繁巳委員長 そのほかございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆田村繁巳委員長 ないようでございますので討論を終結します。

これより議案第49号鳥取市国民宿舎山紫苑の設置及び管理に関する条例の一部改正についてを採決します。本案に対し賛成の方は挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

◆田村繁巳委員長 挙手多数と認め、本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

#### 地域経済変動対策資金（ロシアのウクライナ侵攻に伴う経済変動）の発動について（説明・質疑）

◆田村繁巳委員長 続きまして報告に入ります。

地域経済変動対策資金（ロシアのウクライナ侵攻に伴う経済変動）の発動についての御報告をお願いします。西田課長。

○西田茂樹企業立地・支援課長 企業立地・支援課の西田です。それでは本日お配りさせていただいています資料のほうの2ページをお開きいただきたいと思います。地域経済変動対策資金（ロシアのウクライナ侵攻に伴う経済変動）の発動についてということで、御承知のとおり、今ロシアがウクライナに侵攻しとりますけども、これを発端としまして経済制裁等によりまして、具体的にはロシアに販路を持っていた企業さんなんかそういった販路が途絶えているというようなそういった企業活動に影響を受けました中小企業者等の資金調達を支援するために、県市協調の制度融資によります地域経済変動対策資金、いわゆるコロナ資金もこの資金の中の1つのメニューなんですけども、これにおける経済変動事象にロシアのウクライナ侵攻に伴う経済変動が指定をされました。この融資の概要につきましてですけども、融資の対象者につきましてはロシア・ウクライナ情勢の影響を受けました県内中小企業者等で指定期間内の売上高の見込みが前年同月の売上高に比べて5%以上減少しているものということで売上げの減少を要件としております。資金使途としましては運転資金、設備資金、借換え資金、ただし、借換

え資金のみでの使用は不可能ということになっております。

それから融資期間は10年以内、うち据え置き3年以内を含みます。融資利率が年1.43%、保証料率は0.23から0.68ということになっております。融資限度額につきまして2億8,000万円、取扱期間は令和4年3月1日から今のところ3月31日の保証申込み分までということになっております。想定は融資額ですけれども、県のほうでこの3月末までの申込みを約3億円ということで見込まれるようです。そのうちの鳥取市の企業の融資実行を1億円というふうに見込んでおるところでございます。

この地域変動対策資金の直近の融資実績ということで今年の1月末時点までの数字を載せております。これの3つ目ですけれども、いわゆるコロナ資金については、今、継続をして取扱いをしておりますけれども、令和2年2月以降4,660件、935億強という融資実行がされているところでございます。それから令和3年度の燃油価格の高騰、これも今、継続をしております。これも令和3年10月から資金発動しておりますけれども、現時点では1件、2,000万の融資実行がされているという状況でございます。

今後の対応としまして、この情勢によっては本資金制度は県の判断によりまして受付期間の延長でありますとか、今は、これは資金発動のみですけれども、県の間接補助によりまして利子補助制度も発動されるという可能性もあるということでございます。それに加えましてこの令和3年度の燃油価格の高騰の分につきましても、3月末までの取扱いとしとりますけれども、これも今4月以降の取扱いの延長についても県のほうで検討されているというところです。これにつきましては利子補助制度も、今、発動しておりますので、今後期間延長ということになれば必要に応じて、この利子補助制度につきましてもまた補正予算もさせていただくというようなことも出てくることも想定をしているところでございます。

報告は以上でございます。

◆田村繁巳委員長 御報告いただきました。

委員の皆様から質疑、御意見などございますか。長坂委員。

◆長坂則翁委員 最初にちょっと聞いてみたいんですけど、この表現の仕方としてね、融資対象者はロシア・ウクライナ情勢の影響を受けた、ここはやっぱり県内中小企業者等、こういう表現が正解なんですか。市内業者、市内の中小企業者等という表現、県はもちろん今は話があったように3億円ですか、何か県は県なりの取組をされようとしとるんでしょうけれども、ここの表現はどうなんですか、まず教えてください。

◆田村繁巳委員長 西田課長。

○西田茂樹企業立地・支援課長 企業立地・支援課の西田です。そうですね、県との協調の制度融資ですので、これは県内に発動されているということで対象となるのは県内中小企業者全部なんですけれども、鳥取市としてこれに伴って預託金を負担するとか、そういうものについては当然鳥取市内の中小企業者のみでございます。

◆田村繁巳委員長 長坂委員。

◆長坂則翁委員 だから、県が融資対象者と言った場合は確かにそうだろうけど、鳥取市が提案する場合は、私は市内中小企業者等という表現のほうがより妥当性があるのかなっていうふう

なこと、ちょこっと感じたもんでお尋ねをしました。

それで、もちろんロシアっていうのは石油の産油国でもあるんだけど、具体的に、例えば市内中小企業者の大打撃を受けているっていうんか、これから受けそうだっていう業種はどういった業種を想定されておるんですか。

◆田村繁巳委員長 西田課長。

○西田茂樹企業立地・支援課長 企業立地・支援課の西田です。先ほど申しあげました、今、既に販路を持っておりました製造業であるとか、小売業とか、そういった販路が一時的に途絶えるというようなそういった業種を想定しとります。それが県では3億円の想定をされているというところで市としてはその3分の1くらいを見込んでおります。ただ、企業数につきましては県のほうも具体的にこの想定の数値は出てませんので、市としてもちょっと何件、何社利用されるのかということとは想定はしていないところでございます。以上です。

◆田村繁巳委員長 よろしいですか。そのほかございますか。西村委員。

◆西村紳一郎委員 県が指定されたということですけど、本市としてはこの資金ですね、どのような格好でPRされようとしていますか。

◆田村繁巳委員長 西田課長。

○西田茂樹企業立地・支援課長 企業立地・支援課の西田です。それぞれこの資金の発動された場合に、ホームページでも周知をするようにしています。また、チラシも作成をしてこの庁舎の中にも置いとりますし、必要に応じて経済団体等にも、もしPRをしていただけるということであればそういったところにも相談をしたいと思っておりますけども、今のところこの3月末までの取扱いということですので、また、これが延長されるようであれば、またそういった広報というのも考えていきたいなというふうに考えておるところでございます。

◆田村繁巳委員長 西村委員。

◆西村紳一郎委員 ロシアに輸出とかされている業者っていうのは把握されています。

◆田村繁巳委員長 西田課長。

○西田茂樹企業立地・支援課長 企業立地・支援課の西田です。市としてはそういった販路がロシアにあるというような企業ですね、把握はしていないところでございます。

◆田村繁巳委員長 そのほかございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆田村繁巳委員長 ないようでございますので質疑応答は終了いたします。

#### 桜のライトアップについて（説明・質疑）

◆田村繁巳委員長 続きまして桜のライトアップについての御報告をお願いします。平井課長。

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 観光・ジオパーク推進課平井です。委員会資料のじゃあ、3ページのほうお願いいたします。桜のライトアップについてでございます。この事業でございますけども、例年桜の開花時期に合わせて、市民や観光客の方々に憩いや癒しを提供するというようなことで、史跡鳥取城跡や袋川沿いにぼんぼりを設置して桜のライトアップを行うものでございます。コロナ禍にあった昨年に関しては3月25日から4月7日までの2週間の

実施ということでございましたが、今年は現在のところですけども点灯期間を3月28日から4月10日までの2週間、点灯時間は昨年と同様18時から20時30分の予定で行うこととしておりまして、通常やっておりましたこれまでのコロナ前の時間よりは1時間終了時間を繰り上げて行う予定としております。点灯期間は桜の開花状況によりまして、また前後する可能性がございますことをちょっと申し上げさせていただきます。

点灯場所は城跡、袋川沿いで詳細はここに書いてあるとおりでございます。

下のほうにちょっと記載をしております新型コロナの感染拡大防止対策ということでございまして、来場の際に、マスクの着用、距離の確保っていうものをホームページ等で周知させていただきますとともに、ライトアップの中止基準等設けております。こちらは鳥取県版の新型コロナ警報で東部地区に特別警報、これが発令されている間というのはライトアップを中止ということで考えていく予定にしております。また、宴会についても4人以下の少人数に限る。それから飲酒や大声で騒ぐ行為を禁止するといったような制限も設けさせていただきます。こうしたルールの下に、点灯時には警備員による巡回や注意喚起、こういったものを行いながら特に週末の金曜、土曜、日曜日は警備員を増員して注意喚起の看板なども設置しながら周知を徹底していこうというふうに考えているところでございます。

説明は以上でございます。

◆田村繁巳委員長 御報告いただきました。

委員の皆様から質疑、御意見などございますか。長坂委員。

◆長坂則翁委員 これには全然記載されていないんだけど、今、警備員の配置の問題もあるし、もちろんぼんぼりをつけようと思えば業者発注だろうと思うし、財源としてはどの程度見込んでおられるんですか。

◆田村繁巳委員長 平井課長。

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 観光・ジオパーク推進課平井です。年度がちょうどこの3月がいわゆる設置、それから新年度に入ってから撤去というような形になりますので、まず、設置というかトータルでいいますと、大体約800万くらいかかります。それで、撤去のほうは比較的予算は約300万くらいなんですけど、やっぱり設置が当然かかっているんで、その残りは設置費にかかっているというような状況でございます。警備費なども含めましてということで。

◆田村繁巳委員長 長坂委員。

◆長坂則翁委員 その財源というのは、どういったその科目から出すんですか。

◆田村繁巳委員長 平井課長。

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 観光・ジオパーク推進課平井です。基本的には一般財源のほうで対応して、これは基本的に観光コンベンション協会、そちらのほうにいわゆる事業委託というような形で委託をするものでございます。

◆田村繁巳委員長 長坂委員。

◆長坂則翁委員 ライトアップはほとんどやっぱり市内の皆さんを対象にしたというんか、県外観光客がそこまでというのはないだろうと思うんだけど、想定はしておられるんかどう分

からんけど、費用対効果についてどの程度認識しておられるんですか。

◆田村繁巳委員長 平井課長。

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 観光・ジオパーク推進課平井です。正直なところその費用対効果で、じゃあ、例えば県外から幾ら来るかというようなところの数値的な、例えば目標とかというものまでは定めてはないですけども、ただ、やはり3月、4月というのは人の動きが、コロナやっぱりあるんで心配ではありますけど、多い時期ですんで、市内に宿泊された方がよく、例えば旅館に泊まられて城跡に行って桜を見てるといようなお話も旅館からは聞いていますので、いわゆる滞在のプログラムというんですがね、メニューとしては時期柄やっぱり必要なものだろうというふうな認識はしています。以上です。

◆田村繁巳委員長 長坂委員。

◆長坂則翁委員 別にライトアップを否定しているものでも何でもありません。確かに米子市辺りも米子城跡のライトアップも云々というような報道もあったし、否定するものではないですけども、主に、じゃあ、このライトアップによって訪れる人というのは市内の方が中心だろうかというちょっと思ったんで、そうするとあまり費用対効果というものには期待ができませんのかなという感じをちょっとしたもんで言いました。結構です。

◆田村繁巳委員長 そのほかございませんか。上杉委員。

◆上杉栄一委員 関連だけでも、以前に鳥取城跡のライトアップが出た。あれはいつだったですかいな、終わったかいな。

◆田村繁巳委員長 平井課長。

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 観光・ジオパーク推進課平井です。1月にその補正予算させていただいた城跡のライトアップについては、現在のところ一応秋頃に予定をしたいなというふうに考えておるところです。

◆田村繁巳委員長 そのほかございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆田村繁巳委員長 ないようでございますので終了いたします。それでは文教経済委員会を休憩し、切換えいたします。

予算審査特別委員会文教経済分科会に切換え 午前10時47分 休憩

文教経済委員会に切換え 午後2時13分 再開

## 【その他】

### 陳情不採択理由について

◆田村繁巳委員長 引き続きまして文教経済委員会を再開します。

その他として陳情不採択理由について入ります。令和4年陳情第3号最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出を求める陳情は不採択となりましたので、前回の議論を基に、お手元に配布のとおり不採択理由の案を作成いたしました。皆さんそれ見ていただいでよろしいでしょうか。

読み上げましょうか。1,500円以上を目指した最低賃金の引き上げはコロナ禍における厳しい企業経営など踏まえると、現実的に困難であると考えため。よろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆**田村繁巳委員長** はい、それではそのとおりに不採択理由といたします。

#### 議会報告会・意見交換会について

◆**田村繁巳委員長** 次に令和4年度議会報告会・意見交換会についてに入ります。

議会報告会の件についてメインテーマ未来へつなぐまちづくり、また、文教経済で3つの提案がされています。その辺のことについて委員長おられますのでメインテーマ、こういう形で決まりました。また、文教経済委員会としてはこの3つに絞り込みましたっていうような状況についてちょっとお話いただけますか。西村委員。

◆**西村紳一郎委員** 広報委員会でメインテーマを決めました。大変、漠としたメインテーマとして、未来へつなぐまちづくりについてというテーマとして、鳥取市の明るい未来プランというのが12月に示されたわけでありますが、アフターコロナ、まだ今は現在ウィズコロナですが、そういうことを踏まえながら意見交換、未来に向けて鳥取市のまちづくりはどうあるべきかというようなことを意見交換したらという思いでございます。

記載してあります3つにつきましては、明るい未来プランから文教経済関連のものをピックアップしたものでございます。このテーマにこだわる必要ございませんので、皆さんの総意を持って2つほど意見交換のテーマを決めていただけたらと思います。今日こうやって提案したんでもう1回目、明日か、明日でもいいんじゃないかと思うんですが、よろしく願いいたします。

◆**田村繁巳委員長** はい、それでは3つのテーマ、SDGs未来都市について、もう1つは鳥取砂丘西側整備事業について、もう1つはGIGAスクール構想事業について、このGIGAスクール構想事業については、今年度GIGAスクール構想の取組についてっていうことで、同じテーマですよね、が上がっていますのでその辺もちょっと考慮していただきまして、1つまたは2つですんで、明日の最後のときに決めたいと思います。1つでいいんですか、2つでいいんですね。はい、長坂委員。

◆**長坂則翁委員** テーマ別にこれにこだわるわけじゃないんだけど、要は市民の意見交換会に参加をしてくれたその市民の方がやっぱり議論がしやすいテーマ意識をしながら選ばなきゃいけないと思うんです。これが悪いっていうんじゃないですよ、悪いっていうんじゃないんだけど、そういう視点を大事にした中でのやっぱりテーマ選定というものが、私は一番問われているのではないかなっていうふうには。

◆**西村紳一郎委員** これはあくまでも明るい未来プランから抜粋した参考です。

◆**長坂則翁委員** ですから、明日の教育委員会終わってからきちっと確認しましょう。

◆**田村繁巳委員長** そうですね、ええ。あくまでここに上がってるのは参考ですので。ということで明日の皆さんの御意見で2つぐらいに絞っていききたいなと思いますのでよろしく願いします。

ほかに皆さんはございますか、これ。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆**田村繁巳委員長** いいですね。以上で全ての日程が終了しましたので文教経済委員会を終了します。ありがとうございました。

午後2時19分 閉会

## 文教経済委員会・ 予算審査特別委員会 文教経済分科会 日程

日時：令和4年3月10日（木）10：00～

場所：7階 第2委員会室

**経済観光部** (10：00～)

----- <文教経済委員会> -----

**◎議案【質疑・討論・採決】**

議案第49号 鳥取市国民宿舎山紫苑の設置及び管理に関する条例の一部改正について

**◎報告**

地域経済変動対策資金（ロシアのウクライナ侵攻に伴う経済変動）の発動について

桜のライトアップについて

----- <予算審査特別委員会 文教経済分科会> -----

**◎議案【質疑】**

議案第5号 令和4年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

議案第7号 令和4年度鳥取市公設地方卸売市場事業費特別会計予算

議案第14号 令和4年度鳥取市温泉事業費特別会計予算

議案第15号 令和4年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計予算

**◎分科会長報告の取りまとめ**



**農林水産部・農業委員会**（経済観光部終了後）

◎議案【質疑】

議案第 5 号 令和4年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

◎分科会長報告の取りまとめ

----- <文教経済委員会> -----

**その他**（農林水産部・農業委員会終了後）

陳情不採択理由について（令和4年陳情第3号）

議会報告会・意見交換会について